



討議資料

# こころネットワーク だより

Vol.55 2011(平成23)年7月13日発行

市民の皆様とともに暮らしや丸 岩国はるやかに・・・。

岩国市議会議員 姫野敦子の活動報告 + その他色々の情報紙

大変な震災から4ヶ月。未曾有の大被害への対策や被災者支援も追いつきません。現状と課題をよく理解し、未永い市民レベルでの支援も必要です。先日閉会した6月定例会や活動などをお知らせします。

## 市議会の上関原発建設計画の意見書について

### 原発事故の一般質問も多く

10月の改選後、最多の一般質問があり、その25名中、18名が震災や原発事故による影響、対策について質問されました。

国の進めてきた原発推進計画は安全神話にはほど遠く、連日大変な状況だったことが徐々に分かってきました。「大変な事故で自分たちにとっても身近な問題だった。」これまであまり原子力に関心のなかった方からも、岩国市議会からの意見書の早期採択を求められました。

### 上関の意見書採択は？

震災・津波・原発事故は3月議会中でしたから、私自身もすぐにでも計画中止の意見書採択を提言しました。6月定例会により良い意見書をしようと言う事にな、見送りました。

6月定例会では、周南市では初日に『中止』の意見書が採択され、県内各地の市議会で意見書採択が相次ぎました。

岩国市議会も周南市と同じ案が共産党会派から出されました。様々な案文を代表者会議で何度も検討した結果、『陳結』の案を議会の全会一致で採択しようともとなり、意見書の採択の意義を優先し、姫野も賛同しました。

### 最終日の採決では・・・

6月定例会最終日直前に会派を離脱して『中止』でなければ納得出来ない」と言われるS議員より反対討論が行われました。

反対者があったため賛否が問われ、賛成多数で『陳結』の意見書が採択されて国などへ提出されました。

岩国市議会、全会一致の形で国へ強い意志を表したかったのですが、少し残念な結果となりました。

### これからのエネルギー行政

そもそも石油燃料が30年で枯渇するからと始まった原発計画。狭い国内に17カ所54基も建設、不都合や危険性は正しく伝えられておらず、これまでの投資と安定的なエネルギー供給に今後も継続したいと。

30年経った今、石油はあと50年以上に伸び、一度原発事故が起きると大変な被害が起こるのが国民全ての知るところとなりました。

新エネルギーの予算に比べて、原子力関係予算は突出。二酸化炭素を出さないクリーンエネルギーといった公報や精製や維持管理、処理に莫大な予算と環境負荷。

のど元過ぎればとならぬように、しっかりと今後の対策を考えたいものです。

# 東北、大船渡市などへ行ってきました

7月8日から11日にかけて、東北大震災の爪痕も生々しい現地を訪問してきました。

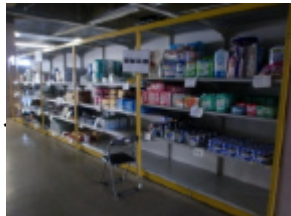
県内からの参加者が乗り合わせて交代で運転し、一路東北を目指して岩国を出発。新潟経由で、翌朝早くに会津若松市に到着しました。

近くの東山温泉の各ホテルは仮設住宅が出来るまでホテル全館を被災者の避難所として活用され、丁度、一時帰宅のためのバスも集合場所にお迎えに来ていました。

午前中、会津若松市内の元スーパーを利用した「元気玉プロジェクト」を訪問。被災した子ども達の学習支援ボランティアをしておられる大学生たちとお会いしました。



今回、夏休みを利用し被災の子どもたちを北海道に招待する計画があり対応を相談。せっかくの自治体などからの支援ですが、初盆や余震や今後への不安の多いとき、私でも子ども達だけを遠くへ行かせるのは難しいのではと感じました。



このスペースは、元スーパーだったところで沢山の救援物資が利用しやすいよう仕分けして棚に並べてあり必要な方が買い物するように選んで便利に利用できるように配慮してあり感心しました。

また学生さんや市民のボランティアの継続的な息の長い支援の大切さを感じました。

午後は陸前高田市を通り大船渡市へ。陸前高田に入ったとたん、生々しい景色。

前回5月に訪問されたときよりはがれきの除去は進んでいるようでしたが、

まだまだ海へと傾き水たまりも多く、がれきなども大変な量。砂けむりと魚などの腐敗臭、ハエも大発生していました。



大船渡到着後、丘の上にある社会福祉協議会を訪れましたが、沢山の写真が置かれていて、銘々ゆかりの写真を一生懸命に探しておられました。



大船渡警察署裏のボランティアセンターには全国各地から次々と貸し切りバスが到着し、登録後支援に動いておられました。

私も出がけに焼いた、ごまケーキを差し入れ。

その後、500軒近くの仮設が建設された高台の避難所へ移動。住人のご希望をうかがい、近くのホームセンターで資材調達して、大工仕事のお手伝い。

棚など全くない仮設住宅に、ご希望に合わせて5カ所棚を設置。一緒に行った大工さんの見事な作業が、とても喜ばれていました。

夕方はボランティア仲間のお宅の被害を家を見せていただきましたが、明治25年に建てられた大きなお宅も屋根近くまで津波を受けて空っぽに。

建具の多い古い屋敷だったから波が通り抜けたためこの程度ですんだとのことで、壁で支える新しい住宅は、家ごと流されてしまったと。

大工工事を待っておられましたが、その大工さんたちは仮設住宅の建設にかり出されて対応出来ない様でした。

途中も海中に大きな屋敷の屋根が見えたり、かなり内陸部にも大きな船がそのまま置き去りになっていたり、びっくりするような景色。

またタバコの空き箱をひねったように大破した車の数々に自然の圧倒的な力を見せつけられました。



夜は民泊させていただき地元の方々とお遅くまで情報交換させていただきました。



翌日は学校を訪問し、小学生の作った心のこもった千羽鶴をお届けしたり、校庭に建設中の木質の仮設住宅を見せていただいたりしました。

校長室にてお話を聞いている最中に最大震度5近い余震が起き、1分以上ゆさゆさと続きました。間もなくサイレンが鳴り響き、津波注意の避難指示が出ましたが、大きな影響はなくホッとしました。

往復3千キロの被災地訪問でしたが、何が今必要なのか地元のニーズや状況をよく理解してこれからもできる支援や訪問を行いたいと思います。



# 6月定例会の一般質問



6月議会では、皆様からのご意見を元に福祉や介護の問題、原発事故を受けての対策など、折々に感じた課題などを取り上げて質問しました。

## 市民の立場に立った福祉・介護施策について

Q：障害者計画に、しょうがい児者の意見をもっと反映してほしい。

技術革新にともない日常生活用具の給付についても、よいものに

療育センター増改築は重度の子どもたちへの療育・リハビリも充実を

介護認定審査の主治医意見書等の反映など課題改善は？

A：今年度は3年に一度の「岩国市障害者計画」の策定年度。実態調査等の結果や、サービス利用予測を踏まえて、障害者福祉諸事業の、より効果的な運用や、新たな社会資源の開発、福祉サービスの提供に努める。

日常生活用具等給付事業も対象者のニーズや利便性等を考慮した上で、今後はより柔軟に対応したい。

療育センターは本年度、建設工事に着手するが、全ての障害児等の総合的な療育相談と、訓練の場の提供するため専門医師の確保なども含め、事業受託者の岩国市医師会との調整協議を進める。

介護認定審査における主治医意見書の役割は大きい。適正な介護認定に努め、できる限り自宅で自立した日常生活を営めるよう必要な介護サービスを提供していく。

**岩国市の計画策定は、コンサルタントの契約が多く主のもので5年間で3億以上の予算と、コンサルが作ると確かにきれいで立派。しかし全国で同様な計画が多い中、アンケートなど手間のかかるのみ契約し、市が独自で作るべきでは？**

## 原子力発電所の事故を受け子どもたちへの対策は？

Q：代表質問で同僚議員が事故対策を質問。放射能への感受性の高い子どもたちへの対応はどのように考えるか？

A：学校における危機管理マニュアルの作成指針をもとに、すべての学校において危機管理マニュアルを作成。山口県が提案しているKYT(危険予測学習)の活用や、大気中の放射性物質の対策も、文科省資料等を参考に、市教育委員会として対応を研究したい。

## 医師不足について

Q：医療のニーズは高いが、全国的な医師不足のためいつも綱渡り。その対策として、地元での勤務を目指す生徒へ市独自の奨学金支援策はおこなえないものか？

A：美和・錦の市立病院及び本郷の市立診療所に勤務している医師に働きやすい環境を整え、医療機器・施設整備等の勤務環境などの充実、地元で働きやすい環境づくりに取り組んでいる。

奨学金制度は、山口県において県内の公的医療機関への勤務を条件とした医学生修学資金制度があり活用して欲しい。

市民生活の課題やご意見、ご提言など、みなさまのお声をぜひお聞かせ下さい。



議会の傍聴にもぜひお越し下さい。

# 姫野敦子の主な行動メモ

## 2011年5月～6月 (抄)

- 5月 1日 しゃくなげマラソン参加 ボランティア  
4日 日田に帰省  
5日 長門市など訪問  
10日 岩国友の会例会当番  
14日 岩国往来参加 本郷～美和  
15日 エンパワメントフェスティバル2011(山口)  
18日 災害ボランティア報告会(防府)  
20日 岩国の案内  
21日 ユネスコ協会総会 懇親会  
28日 ワイズメンズ岩国みなみクラブ認証式  
29日 文化協会総会 懇親会
- 6月 1日 鵜飼い開き  
4日 やまぐち男女共同参画会議総会(山口)  
岩国と自然きずなフェスタ2011  
6日 6月定例会初日  
8日 学校ボランティア 友の会有職者例会  
10日 二鹿蛍見の会  
11日 がん患者さんの会 『えがお』例会  
12日 錦帯橋花菖蒲まつり  
14日 39回目献血  
15日 学校支援ボランティア  
17日 いわくにの会例会  
19日 市民サポート講座  
21日 岩国みなみワイズメンズクラブ例会  
22日 学校支援ボランティア  
23日 総務常任委員会  
25日 いってみんな  
26日 チャイルドライン公開講座  
27日 6月定例会最終日  
29日 長門市訪問  
30日 学校支援ボランティア



## 9月定例会のご案内

次回定例会は  
**8月末**より開催される予定です  
是非傍聴にお越し下さい。

発行：姫野敦子と  
こころネットワーク事務所  
〒741-0082 山口県岩国市川西3-3-54  
Tel&Fax 0827-41-1320  
Eメール himeno@enjoy.ne.jp  
WEB http://www.sky.icn-tv.ne.jp/himeno/

行ってみて、言ってみん会

# いってみんな会

## のご案内

毎月月末に開催していますが、  
行事参加のため  
7月は31日(日)に開催します。  
次は9月議会直前の  
8月27日(土)に開催します。  
是非ご参加下さい。  
15時より 姫野事務所 です。

次回の『まなぼ～やあ』は  
9月10日(土)14時～行います。  
わくわく五感を刺激しながら  
楽しみつつ女性の政治参加など  
考えてまいりましょう。ご参加ください

### <<情報コーナー>>

発達障害(児)者、自立へのサポート!  
第1部(午前)

家庭で学校で地域で何ができる?

～ぼくたち、わたしたちが自立するために～  
第2部(午後)

ワークショップ

ソーシャルストーリーを学ぼう!

日時:平成23年8月20日(土)

10:00～15:30(受付9:30)

会場:岩国シンフォニア(大会議室)

入場料:1部1,000円 2部2,000円

主催:NPO法人テンドーハー DonMin

申込方法:お名前・連絡先(電話かメール)・

所属名(または一般)をFAXかメールで

〆切:8月10日(水)まで

申込み・問い合わせ先

NPO法人テンドーハー DonMin

FAX:(0827)28-4546

E-mail: [purin20@ymail.plala.or.jp](mailto:purin20@ymail.plala.or.jp)

～編集後記～

何が正しいのかさっぱり分からなくなりそうな  
大変な今の世の中。

真面目に考えるほど虚しいと言われる方も

これまで無関心な中、国民に裏付けなど説明  
明なく突き進んできた結果が、この現実かと

暑い夏がやってきました。情報に左右され  
イライラするだけでなく、自分の心の声にも  
耳を澄ませる心の余裕が欲しいですね。

どうか、お身体に気をつけてお過ごし下さい。